

INFO 1

Pâtisserie Ruelle

クリスマスケーキのご案内

今年もクリスマスの時期が近づいてきました。Ruelleでは様々なサイズ・種類のデコレーションケーキをご用意しております。1番人気の、生クリームデコレーションケーキをはじめ、今年の新作はいちご好きはたまらない、いちごをたくさん使用した『フレジエ』。クリームには、バターとカスタードクリームを合わせた食べ応えのある商品となっております。また、当店人気のシュークリームをクリスマスケーキに形を変えた『プチシューとフランボワーズショコラ』。プチシューの中には生クリーム、プラリネクリーム2種類のクリームが入っており、さわやかなフランボワーズショコラのムースと相性抜群です。他にもクリスマス限定のカットケーキをご用意しております。ご予約は店舗へお電話いただくか、QRコードからお願いいたします。

お歳暮のご注文も承っております。ご予算に応じてお作りいたしますので、こちらもぜひご利用ください。

クリスマス・年末は、ぜひRuelleのケーキと焼き菓いで楽しいひと時をお過ごし下さい。



パティスリーリュエル Christmas Cake Collection

クリスマスケーキコレクション 2023

ご予約受付期間 10/1日(日) - 12/9(土)

ケーキお渡し日 12/22(金) - 25(月)

生クリームデコレーション 3号 4,200円 4号 5,000円

生チョコデコレーション 3号 4,500円 4号 5,300円

プチシューとフランボワーズショコラ 4,000円

フレッシュ プリンエ 4,800円

ガトーショコラ 3号 3,800円

Ruelle 011-376-0644

ご予約・お問い合わせ Web はこちら

店舗 水 11:00-15:00 木 11:00-17:00 土 12/23-24 11:00-15:00 日 12/25 11:00-17:00

INFO 2

ぺこぺこのはたけ

11月の小鉢御膳、クリスマスオードブルのご紹介

食欲の秋がやってきました!秋は野菜以外にも、果物、木の実、木の子など、実りがたくさんあって、つつい食べ過ぎてしまいますよね。11月の小鉢御膳はそんな秋の味覚を代表する、栗のおこわと木の子の炊き込みごはん、ジューシーな味わいが口いっぱいに広がる生柿、秋野菜の代表格のかぼちゃやさつまいもの天婦羅など、贅沢な秋の料理が勢ぞろいです。また、11月からいよいよクリスマスオードブルのご予約を受け付け始めます。今年のオードブルの販売は12月23日(土)、12月24日(日)の二日間となっております。販売数を限定しておりますので、ご希望の方はお早めにぺこぺこのはたけまでご連絡ください!



ぺこぺこのはたけのクリスマスオードブル

35%OFF

クリスマスオードブル

12/23(土) 12/24(日)

1人前 2,800円 2人前 4,800円 3人前 6,900円 4人前 9,200円 5人前 11,500円 6人前 13,800円

クリスマス・オードブル申込用紙

TEL:0133-22-2896

Donation 寄付について

ゆうゆうの活動にご支援をお願いします

◎社会福祉法人への寄付について

私たちの考え方、事業に共感していただける皆さまからのご寄付を受け付けています。超少子高齢・人口減少社会などの社会課題に対し、「ひとりの想い」を大切にする福祉実践を展開し継続した活動をするためには、皆さまの力が必要です。ぜひ活動へのご支援をお願いします。

- 1 個人の場合
- 2 法人の場合
- 3 相続による寄付の場合

所得税の寄付金控除または税額控除が受けられます。

一般の寄付金とは別枠で、法人税法上の損金算入ができます。

租税特別措置法により相続税が非課税となることがありますのでご相談ください。※個人で適用を受けるためには確定申告が必要です。

領収書について

寄付金控除を受けるには、「寄付金」の但し書きのある領収書が必要です。当法人発行の領収書をご希望の方は、お電話又はWEBお問い合わせフォームからご依頼ください。

TEL:0133-22-2896
https://yu-yu.or.jp/contact/



ゆうゆうの今を伝える広報紙



YOU YOU MAGAZINE

ゆうゆうマガジン



人が彩る、サロンの秋

10月に若年性認知症当事者の下坂厚さんと福祉ジャーナリストの町永俊雄さんをお招きして「福祉と当事者のリアルー一般公開講座in苫小牧 認知症になっても、何でも出来る」を苫小牧市東開文化交流サロンで開催し、約70名の方にご参加頂きました。参加者のおひとりが「今までは認知症になったらどうしようと怖かったけれど、今日話を聞いて、なっても大丈夫かもしれないと思いました」と話してくださったのが、とても印象的でした。

嬉しいニュースがもう一つ。サロンが「北海道福祉のまちづくり賞」を受賞しました。館内デザインと調和した点字ブロック、非常時には避難誘導にも活用されるデジタルサイネージなど、ハード面のバリアフリー配慮に加え、利用者の安全確保や困りごと対応などを行う見守り支援員の配置などソフト面も評価頂きました。

年齢や障害の有無を問わず、共に過ごし、いろいろな体験をし、楽しみを分かち合う。そんな場でありたいと思い、さまざまな企画も実施しています。芸術の秋にちなんで、「アートワークショップ」でも、こどもから大人まで、多くの方が思い思いに自由な表現を楽しんでいました!

引き続き、多様な人びとの交流を紡ぎ、他者に寛容になれる人とまちづくりを行えるよう、日常をひとつひとつ丁寧に積み上げていきます。



「にじりんピック」開催しました!

旧弁華別中学校(によきによき)の体育館を使用して、スポーツの秋にちなみ、「よるのにじ」と「オリンピック」を掛け合わせた「にじりんピック」というイベントを開催しました!

2チームに分かれて、「10色綱引き」「玉入れ」「パン食い競争」の3種目を行いました。10色綱引きでは、両チーム5本ずつ勝ち取る拮抗した戦いを繰り広げました。玉入れも同様にイーブンと勝ち負けの付かない結果となりましたが、全員が笑顔で盛り上がりを見せていました。最後のパン食い競争は個人戦で、それぞれ思い思いの形でゴールを目指しました。熱戦の裏側では、によきによきの利用者さんが応援に来て、久々の再会や交流を図るなど、ほのぼのとした雰囲気も流れていました。これからもよるのにじは、利用者さんが楽しめるイベントを企画して参ります。



「北海道・北東北アート&ステージ」を開催しました

9/15(金)~9/18(月・祝)、岩見沢市生涯学習センターいわなびにて「北海道・北東北アート&ステージ2023」を開催しました。イベントでは展示会やショーケースが開催され、累計約420名の方にご来場いただきました。中でもショーケースでは、各地より招待した皆さんに迫力あるパフォーマンスを披露いただきました。さらに、小林さん(いわみざわアート&アート実行委員会 実行委員長)と世戸口さん(ゆうゆう企画推進部)のお二人に司会をお願いし出演者インタビューを行うことで、障がいのある方の活動を広める良い機会になりました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。また、当日の様子をYoutubeに公開しましたので、ぜひご覧ください。

芸術文化推進室では、来年3月開催「北海道 障がい者のアート展」の準備が始まりました。12月より募集が始まりますので、ぜひ応募に向けて作品づくりにチャレンジしてみてくださいね。



アールブリュット・ショーケース2023「舞台上がれ!」招待部門



和寒町ふくしのまちづくりプロジェクトの経過報告

今年5月に始まった和寒町ふくしのまちづくりプロジェクトは、10月14日に「第2回和寒町ふくしのまちづくり町民サミット」を開催し、和寒町内外の中高校生からシニア世代まで、70名ほどの皆様にご参加いただきました。

第1部では北海道大学工学研究院 准教授の小篠先生にご登壇いただき、イタリアのトリノ地区、北海道砂川市のまちづくりの事例から、公共施設を活用して自分たちでまちを良くしていくという取り組みをご紹介いただきました。

第2部では「もっと和寒町をデザインする」をテーマに和寒町の未来像を描くというワークショップを行いました。各グループから子どもが自ら学ぶことができる場所や、和寒町の特産品を使った畑併設のレストラン運営等、様々なアイデアが出ています。まさに自分たちのまちを自分たちでつくる一歩を共有する場となりました。

和寒町ふくしのまちづくりプロジェクトでは、引き続き町民の皆さんをはじめ、様々な皆さんとふくしのまちづくりを進めていきます。プロジェクトの今をnoteにアップしていますので、気になる方・参加したい方登録をお願いします。和寒町の皆さんの取り組みに大注目です!



noteも更新しています。登録をお願いします!



「まちづくりでどんなことができるだろう?」和寒町ふくしのまちづくりNewsletter Vol.4

いっしょに森で遊ぼう

さわやかな秋晴れのもと、野布瀬の森では、子ども大人も一緒に遊ぶイベントを開催し、85名の参加者が集まりました。地域の森林ボランティア「シラカンパ」さんが子どもたちに森で楽しんでもらうと秘密基地づくりや焚き火でパンを焼く準備をしてくれました。子どもたちは、秘密基地の屋根に使ったトマトの葉っぱをかいてみたり、そこにある木に登ってみたり、森にある枝を燃やしてみたり、それぞれの森の楽しみを見つけていました。同じ町に住んでいる人や近隣の町に住んでいる人が、森を通して繋がっていく、ゆるい繋がり、これからも大切にしていきたいと思えます。野布瀬の森では、次回、雪の中の静かな森を体験できるイベントを予定しております。



令和5年度産の色つやのよい新米の準備ができました。全国の皆様にお届けできるよう今年もインターネット販売を行っております。準備出来しだい随時お届けいたします。詳しくはQRコードよりサイト内でご注文下さい。



同じ想いで、学び合える関係を

コロナが5類に移行した5月以降、視察の申し込みが相次ぎ、半年間で約300名の方が来所されました。全国各地で活躍している専門職や、遠く離れた海外からもお越しいただき、互いに学び合えるような時間を設けております。

また、中期visionに掲げている通り、学生が地域福祉の担い手となれるような機会の提供や学びのサポートを行っています。北海道大学医学部医学科の学生たちは、視察した際の地域住民との対話がきっかけとなり、今後は当別町をフィールドに様々な経験を積み、将来に向けて学びを深めていきたいと意気込んでいます。

